

# ユニオン

2025年1月15日 発行

2025年 冬号

<第64号>

編集・発行/社会福祉法人ワークスユニオン 代表/池田直樹 〒551-0001 大阪市大正区三軒家西1丁目17-18 TEL06(6556)0881

## 第10回 ユニオン展

仕事、がんばります

私は、こうちんをたくさんもらつたので100きんでスマホのひもとカバーとイオンでリュックと、はんそでシャツとズボンと、うんどうくつをかいました。リユックはむらさき色をかいました。前からほしかったので、かえてうれしいです。仕事がんばつた。だから、こうちんたくさんもらえました。うれしかつたです。だからこれからも仕事をがんばりたいです。

次は、おこづかいをためます。金沢にりよこうに行きたいです。「ものづくりたいけん」をしたいからです。くみひもとか、コーヒーチやわんをつくりたいです。

川口 百合香



第10回 ニホン屋

卷之三

今年度も11月5日(土)に記念すべき10回目となるユニオン展が「路地アーヴ

で  
い  
ま  
す。  
そ  
し  
て  
今  
回  
は、  
追  
悼  
展  
示  
会  
と  
し  
て、  
道  
田  
篤  
史  
さ  
ん  
の  
作  
品  
も  
飾  
り  
ま  
し  
た。

た。月1度の予定で活動してお  
りユニオン展でも作品を展示しま  
した。多種多様な部材を使って作品作りに  
取り組んでいるので、ユニ  
オン展に出品する作品の部  
材などを全体作品で参考に  
させてもらいました。

ですが、少しづつ出来ていく自分の作品を見て「今日はもうちょっと描こうか」「めっちゃ綺麗になつた」など前向きな発言が増えました。後半では、他利用者さんとお互いに作品を褒めあっていました。職員もそのような姿を見て微笑ましく感じました。貼り絵をした事業所では、利用者さんが色を考えてとても個性がでた作品になりました。今までやつたことがない部材ややり方で創作したことで、利用者さんも楽しそうになりました。

れる取り組みになるよう努めます。ユニオン展を担当して改めて感じたことは、私自身、絵やアート等からは、ほど遠い世界で生きてきたので、今年度アートの研修に行くまでは正直そこまで入り込むことはなかつたですが、知らない世界を見て色々と感じることが出来ました。色んな物を自身の目で見たことで無意識でも自然とアートに関する事が目に留まつたり、情報をインプットして実際試したりすることが多くなりました。

の雰囲気がとても良く、展示スペースがあることに魅力を感じたからです。また、次年度の予約も早めに確保できる点が、展示を行う上で理想的な場所だと感じたためです。

展示担当職員は、その作品の展示方法をどのように飾るか見栄えが良いのか悩みながら決めていきました。他に、テーマの「未来」を連想できる展示案を考えて11月のユニオン展を迎えました。生活介護事業所「匠」「和」は、昨年の1月から、新しく創作活動の講師を迎えるまし

ある事業所の作品作りでは、利用者さんが飽きないよう工夫をして、本人のプレッシャーにならないように、時間をかけて取り組んでもらいました。飽きたらその日は止めてもらい、また気持ちが乗らない日は描かなくてもいいというスタンスで接しました。本人の表現を認め励ますことも継続してみました。Aさんも「今日はもうやめとくわ」と当初話すことが多かつた

次年度取り組むにあたって、しっかりとゴールを決めてそれに向けて結果が見

す事が楽しみになつていて  
利用者さんも増えてきて  
います。これからも利用者さ  
んが楽しんで表現できる機  
会を考えたいと思います。

作品はすべての日中支援事業所・グループホーム（以下GH）にも参加してもらつ

生活介護事業所「匠」「和」  
は、昨年の1月から、新しく  
創作活動の講師を迎えまし

の表現を認め辰ますことも  
継続してみました。Aさん  
も「今日はもうやめとくわ」  
「もうこれで完成でいいわ  
と当初話すことが多かつた

次年度取り組むにあたって、しっかりとゴールを決めてそれに向けて結果が見

す事が楽しみになつていて  
利用者さんも増えてきて  
います。これからも利用者さ  
んが楽しんで表現できる機  
会を考えたいと思います。

鳥村

## グループホーム旅行記



今年度も旅行のシーズンが始まりました。グループホームでも各利用者さんが思い思いの場所へ旅行に出かけています。今年の利用者さんの旅行体験はどんなものだったのでしょうか。それぞれ紹介したいと思います。

◆鉄道が大好きなAさんは

少し残念なところです。

福岡県、北九州の門司にある、九州鉄道記念館まで出かけました。初日は山口県

今回の旅行では随所で記念の写真をたくさん撮影しましたが、声をかけるたび

にご本人が少しニコッとしながらポーズをとついたことが印象に残ります。

トクリームを頬張りながら、島から見える日本海の波の様子を穏やかな表情で眺めていました。夜には旅館で懐石料理に舌づみをうち満足そうにされながら初日を終了。

二日目は九州鉄道記念館を見学。記念館では実際に走っていた、「月光」や「にちりん」といった往年の名列車に乗り込み、興味深そうに座席や寝台を触っていました。体験ができるよう

◆将棋が好きなBさんは、将棋の駒作りで有名な山形県天童市まで出かけました。初日には将棋の駒作りを体

験、これがなかなか難しいなコーナーがなかったのが

していました。夜にはホテルで山形牛の料理を堪能して初日を終了。

二日目に楽しみにしていた最上川船下りが大雨の影響でキャンセルになつたことが残念でしたが、午後から王将果樹園を訪れ、ここで食べたフルーツパフェはすごく美味しかったようで、いい思い出ができたと話していました。

Bさんはいつもお土産購入を楽しみにしており、今

回の旅行でもグループホームの仲間や自分自身にもお土産を購入し満足そうな表情をしていました。

◆Cさんも埼玉県にある『鉄道博物館』と『東京ディズニーシー』に行きました。

鉄道博物館の醍醐味は、

転車台に乗せられたSLが一周する姿を間近で鑑賞できることです。汽笛も鳴動するので、迫力満点でCさんも満足していました。

宿泊先のホテルのお部屋

に着くと、『東京ディズニーシー』のアトラクションで

Dさんは伊勢志摩方面へ出

上がり打ち上げ花火が見えました。初日は志るサブライズ演出もありました。行くなら昨年6月に出来た『ファンタジースプリングス』に行ってみたいところで、翌朝は早起きして開園待ちの行列に1時間近く並びました。そして、すぐに配布終了なことで有名なエリア入場券をゲット! Cさんにも喜んでもらえたことで早起きの疲れが吹つ飛びました。

「アトラクションに乗るよりも雰囲気を楽しみたい」と言われたため、パーク内を散策していましたが、トルソコ電車のアトラクションを見つけ、すぐに乗車しました。さすが、鉄道好きです。

昨年は『東京ディズニーランド』に行つたため、「どちらが楽しかったですか?」と尋ねると「両方!」という返事。全力で鉄道と夢の国の魔法を満喫した2日間でした。

毎日の喧騒をわすれ、大

自然や、普段見ない光景を見る非日常体験は、毎日仕事を頑張る利用者さんにとって、旅行に出かけることを目標にモチベーションを高める意味でも意義があることだと思います。今後も利用者さんの希望を聞きながら計画していくたいと思います。

(濱野・高橋)

秋のバーへキュー

野外活動



「ワークス集」

昨年11月22日(金)、ようやく秋らしさが出てきたこ

つぱも食べるの?」と誰か  
がいいみんなを笑わせてく  
れました。

編集後記

10月18日(金)今年も野外活動でバーべキュー(以下、BBQ)に行きました。

「たんや！おもしろいな！」  
「匠の近くにこんな所があつたんや！」などテンションが上がっていました。

の自然の中でBBQを行いましたが、今年は丘から車で7分ほどのコリアンタウン近くにあり、廃校になつた小学校を再利用した「いくのスカイパーク」にて行いま

そんな特別な空間でジエースやビールで乾杯し、美味しいお肉や野菜、焼きそばなどをメインに変わり種のドーナツやバームクーヘンも焼いて食べて楽しいBBQになりました。

この日は気温が高く  
汗  
ばむくらいでしたが、BBQの  
時間帯は曇っていて丁度良  
い気温の中過ごせました。

BBQ場は、元々校舎の屋上にあるブールだった場所なので、景色が良く開放的で、とても不思議で新鮮な気持ちになりました。利用者さんも「ここ元々ブールやつ

行事や活動に参加したい  
と希望している利用者さん  
が、皆で一緒に参加して樂  
しいひと時を過ごせるよう  
これからも考えていきたい  
と思います。  
(横田)

(横田)

利用者さんが言い、職員が作つた焼きそばの食べ比べをしていました。どの焼きそばも美味しくて甲乙つけ難く、全部の焼きそばが美味しいと言つていました。

風が吹くと落ち葉が舞い、BBQのコンロの中に入り「葉

会場に到着してすぐには、始め、各テーブルで、お肉を頬張り、ジュースを飲み、会話を楽しみ、あつという間にお肉が無くなりましたが、お肉を焼いた後に焼きそば

散策ながら、退職する職員の絵の左側にある灯火を差しに労いの言葉をかけたり、出す人の絵を何の気なしに一緒に「集」で過ごしたこと、描いたとき、そばを通つたを色々と話したりと、名残先生にすごく褒められた。惜しそうにしていました。( ) 気をよくして次に隣の絵を楽しくもあり寂しくもある( ) 描こうとしたところ、顔の野外活動でした。(川口) 輪郭や目がどうしても上手

回の7月に行つた時とは違  
い、緑々とした木々も赤や  
黄色などに染まり、大量の  
落ち葉がじゅうたんの様に  
なり会場内を彩つていまし  
た。

働いたこともあり、異動後は観ていてどのように作つすぐ打ち解けていました。たのだろう」と、ふと思つた賑やかで明るい雰囲気の。▼学生の頃、美術の授業で「集」の一員となりました。『「ゲルニカ』という絵の模BBQを終えた後は公園内を写をしたことがある。その

散策ながら、退職する職員の絵の左側にある灯火を差しに労いの言葉をかけたり、出す人の絵を何の気なしに一緒に「集」で過ごしたこと。描いたとき、そばを通つたを色々と話したりと、名残の先生にすごく褒められた。惜しそうにしていました。(川口) 気をよくして次に隣の絵を楽しくもあり寂しくもある(川口) 描こうとしたところ、顔の輪郭や目がどうしても上手く描けずに何度も書き直すことになった。結局、上手く描けず芸術家への思いは遠のいたが、思えば褒められたことで今も強く記憶に残つてているのだろう。▼利用者さんと何かを一緒にする時には、些細なことでも良いところに着目して言葉をかけたいなと思う。

四

たことで今も強く記憶に残っているのだろう。▼利用者さんと何かを一緒にする時には、些細なことでも良いところに着目して言葉をかけたいなと思う。

N